

来年の議案にそのまま使える背景・目的

背景 幸せの基準は自分で決める！

JC活動に積極的に取り組む意欲はありますが、活動量を増やせないメンバーが多くいます。その原因は、JC活動について家庭に十分に伝えられていないために家庭からの理解を得られていないことが挙げられます。メンバー自らが日常の行動や関わり方を通じて自他ともに心の豊かさを育み、組織全体へ良い影響を広げるとともに、身近な人から共感、応援される状態にする必要があります。

目的 心の豊かさを形づくる日常の幸せ行動！

日々の幸せ行動の積み重ねを実感することで、自身の幸せを起点として他者へも幸せ行動を広げることができる人財を増やすことを目的とします。

*「幸せ行動」とは、スマeatやグッドタッチでGO!など、ありがとう・ありのまま・やってみよう・なんとかなるの、4つの種に基づく幸せの実感につながる行動のことです。

運動手法

① LOMメンバー全員で幸せ行動を実践(推進)

仲間や家族と挨拶をしながら相手へのいいね!を交わす「グッドタッチでGO!」や、食を通じて感謝を伝えるスマeatなど、LOMで取り組む「幸せ行動」を決めてメンバー全員で実践します。LOM全体の当事者意識と一体感が高まります。その実践をもとにメンバーの家庭や地域に幸せ行動を広げると、行動に説得力が増して共感を生み出されます。

② やってみよう!逆参観日(事業)

学校が実施する「授業参観」とは逆転し、子どもが親の職場や仕事ぶりを見学する事業です。LOMメンバーの企業や地元の企業に協力いただき、実施企業に所属する従業員とその子どもを対象に行います。子どもたちの仕事や社会に対する理解を深め、自分の将来に向けた挑戦や成長に対する意欲を育みます。

③ 「じぶんて、いいね!」アートでひらく幸せ教室(例会)

地域の子どもたちとその保護者を対象に、非日常的な対象物に自由な発想によるアートを作成し、子どもたちの非認知能力と自尊心を養う事業です。幸せ行動指標を活用することで、ありのままの自分を表現する幸せ行動を子どもたちに伝播させます。

どんなLOMに向いてる？

前向きに活動に取り組める人財を育成したいLOM

幸せ行動がJC活動を通じて日常に組み込まれることで、メンバー自身の日常行動が変わり、この行動変化が周囲に伝わることでJC活動への共感が生まれます。JC活動を起点としたメンバー自身の行動変化が家庭、地域からの共感や応援につながり、さらにメンバーが前向きにJC活動に取り組みやしやすい環境が生まれます。

この運動をするとあなたの地域はどう変わる？

身近な人を応援できる人財で溢れる地域に

感謝を素直に伝える、挑戦を肯定する、ありのままを受け止めるといった幸せ行動が日々のJC活動から家庭、地域に広がり、その結果誰もが活動しやすく関わりやすい地域になります。そして、身近な人を応援しあえる地域循環が生まれます。

Point 運動構築におけるアドバイス

- スタートは理事長から発信し、LOMメンバー全員に幸せ行動の取り組みを見える化しよう!
- 正解はひとつじゃない。LOMや地域の特性に合わせてどんどんアレンジしよう!
- 幸せ行動実践の様子をSNS等で発信し、共感からさらなるブランディングにつなげよう!

Information

当会議では、こんなお手伝いができます！
・ LOMの規模や状況に合わせた実施プランが設計します。
・ 他LOMの実践事例を共有し、あなたのLOMに合った運動の支援が可能です。

公益社団法人日本青年会議所
国家グループ 社会開発会議
担当：広上 直行
TEL:090-6065-7182
Mail:hrkm0712@gmail.com

gian pocket

誰でも地域にあった運動の構築ができる！
推進議案のチェックはこちらから！

gian pocket
JCI Junior Chamber International Japan

